

誠美だより



それぞれの夏が

新聞を広げててもテレビをつけても、この夏はオリンピック一色。連日、一喜一憂する声が、日本中の家々から聞こえてくるようです。

以前ホール掲示板でもご紹介しましたが、本園、平成12年度の卒園児、中島翔哉くんも、サッカー日本代表として、第二戦のコロンビア戦で、決勝トーナメントへ望みをつなぐ貴重な同点ゴールを決めるなど、大活躍をしてくれました。

職員一同で応援観戦をという企画もあったのですが、試合時間がなかなか都合のいい時間帯にならないぞ…と慌てている間に、予選リーグ敗退…責任の一端を感じております。とにもかかわらず、彼の活躍は、オリンピックをずっと身近なものとしてくれました。

大会を通じて耳にするメダリストたちへのインタビュー。コメントもそれぞれです。「金」はともかく、銀、銅メダリストたちは、ここに至るまでの道のりや、置かれている状況によって、達成感や納得感にかなりの濃淡があるようで：勝負

の結果以上に、それぞれが発する「言葉」に、むしろ心を揺さぶられたり、考えさせられたりします。

「夢ではないかと何度も頬をつねった。」というカヌーイスト、「すみません」と声を絞り出した柔道家、どちらも銅メダリストの言葉。

周囲の期待を受け、連日放映される種目もあれば、結果だけが報じられるものもある中で、それぞれが、それぞれの何かを背負ってこの夏を戦っています。

そうした少し複雑な感情を抱きながら、彼らの奮闘をテレビ観戦していた時、娘からこんな一言がこぼれました。

「どうして数学オリンピックの結果は、大きく報道されないのだろう。」

商業的に…とか、躍動する身体に感動が…と言ってしまう身も蓋もないのですが、確かに自分も学生だった頃、高校野球はあんなに中継されるのに、音楽コンクールなどは、なぜ取り上げられないのだろう…と思ったことがあります。

そういうえば、20世紀前半のオリンピックでは、絵画、彫刻、文学、建築、音楽なども競技種目でしたし(日本の著名な

画家もメダリストです。)、古代オリピックでも、詩や歌が競技だった事もあ
るそうです。

オリピック中継が始まる少し前、とある陶工の苦闘を追ったドキュメンタリーを見ました。未だその製法が謎に包まれたままの幻の紋様「曜変」。それを再現するまで個展は開催しないと決め、調合した釉薬(うわぐすり)を塗っては焼く事を繰り返す毎日。彼の咳くような語り口に「出口の見えない苦悶と孤独」が滲み出ていました。

期待や注目を浴びる事の苦しさもあるでしょうし、己のみのこだわり、人知れず戦っている人もいます。

今月、子どもたち一人ひとりの経験、学び、育ちを記した「歩の記」を順次配布していきます。目立とうが目立つまいが、大きかろうが小さかろうが、それぞれが何かと戦ってきた証が、ここにもあります。

子どもたち、おとなたち…たくさんの人々の、様々な思いを抱き抱えながら…この夏も過ぎていきます。

園長 折井誠司

引き取り訓練を実施

先日のお知らせの通り、8月31日(水)、災害時を想定したお子さんの引き取り訓練を実施致します。

今年度も、多摩なかよし幼稚園、宮上小と訓練日を合わせ、2回に分けて実施します。

また、発生時の混乱等で保護者がお迎えに来られない場合はに備え、お迎えに来る可能性のある方のリストをご提出頂いておりますが、確認したい方、変更がある方は、お知らせください。

この訓練をきっかけに今一度、家族や保育園と連絡がつかない状況を前提に、発生時の行動の原則をご家族で話し合う機会として頂ければと願っています。

災害用伝言ダイヤルの体験

災害時は「災害用伝言ダイヤル」を利用して園の被災状況等をお知らせして参ります。そこで引き取り訓練に続き、9月1日(木)に、災害用伝言ダイヤルの体験訓練を実施します。(詳細はお知らせを参照。)この機会にぜひ体験をして下さい。

「遊ぼう会」のお知らせ

じいじ、ばあばと交流する「遊ぼう会」に、祖父母のみなさんをご招待します！
期日 9月15日(木) ※誕生会終了後
時間 0～2歳児 10時30分
3～5歳時 10時45分
近くなりましたら、参加を募ります。

カレンダー	
8月	4 (木) 乳児健診
	9 (火) 発育測定 (O12)
	10 (水) 発育測定 (K)
	16 (火) 防災訓練
	31 (水) 誕生会 引き取り訓練

- 編集 誠美保育園
- 発行人 折井 誠司
- 印刷所 誠美保育園
- 発行所 社会福祉法人 誠美福祉会

〒192-0364 東京都八王子市南大沢5-1-2
電話 042-675-1155
ファックス 042-677-5643
E-mail: seibi@nokken.jp
http://nokken.jp/